【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成17年6月9日(2005.6.9)

【公表番号】特表2003-529664(P2003-529664A)
【公表日】平成15年10月7日(2003.10.7)
【出願番号】特願2001-572640(P2001-572640)
【国際特許分類第７版】
　Ｃ０９Ｊ 201/00
　Ｃ０９Ｊ　11/06
　Ｃ０９Ｊ　11/08
　Ｃ０９Ｊ 103/02
　Ｃ０９Ｊ 109/06
　Ｃ０９Ｊ 123/00
　Ｃ０９Ｊ 123/08
　Ｃ０９Ｊ 125/10
　Ｃ０９Ｊ 131/04
　Ｃ０９Ｊ 133/00
　Ｃ０９Ｊ 153/00
　Ｃ０９Ｊ 167/00
　Ｃ０９Ｊ 175/04
　Ｃ０９Ｊ 177/00
【ＦＩ】
　Ｃ０９Ｊ 201/00
　Ｃ０９Ｊ　11/06
　Ｃ０９Ｊ　11/08
　Ｃ０９Ｊ 103/02
　Ｃ０９Ｊ 109/06
　Ｃ０９Ｊ 123/00
　Ｃ０９Ｊ 123/08
　Ｃ０９Ｊ 125/10
　Ｃ０９Ｊ 131/04
　Ｃ０９Ｊ 133/00
　Ｃ０９Ｊ 153/00
　Ｃ０９Ｊ 167/00
　Ｃ０９Ｊ 175/04
　Ｃ０９Ｊ 177/00

【手続補正書】
【提出日】平成15年8月27日(2003.8.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　a）皮膜形成ポリマーを含む水性成分と、b）熱可塑性ポリマー、熱可塑性樹脂、ホットメルト接着剤組成物およびそれらの混合物からなる群から選ばれる熱可塑性成分とを含んでなる、接着剤組成物であって、

上記熱可塑性成分は、約10～約1,500μｍの平均粒子寸法を有する粒状形態である接着剤組成物。
【請求項２】
さらに、粘着付与樹脂、可塑剤、界面活性剤、レオロジー改良剤、殺生物剤、制泡剤またはそれらの混合物を含んでなる請求項1に記載の接着剤組成物。
【請求項３】
さらに、デンプンを含んでなる請求項1または2に記載の接着剤組成物。
【請求項４】
上記組成物は、25℃で、約50～約50,000 cPのブルックフィールド粘度を有する請求項1～3のいずれかに記載の接着剤組成物。
【請求項５】
上記組成物の固形分は、少なくとも約40～約80質量％である請求項1～4のいずれかに記載の接着剤組成物。
【請求項６】
上記組成物は、少なくとも20％増加した180度剥離強度を示す請求項1～5のいずれかに記載の接着剤組成物。
【請求項７】
前記熱可塑性成分は、約1～約70質量％の量で存在する請求項1～6のいずれかに記載の接着剤組成物。
【請求項８】
前記熱可塑性ポリマーは、エチレンのコポリマーまたはターポリマー、無定形ポリ-α-オレフィン、均質的直鎖または実質的直鎖のエチレン／α-オレフィンインターポリマー、ゴム系ブロックコポリマー、ポリアミド、ポリエステルまたはそれらの混合物を含んでなる請求項1～7のいずれかに記載の接着剤組成物。
【請求項９】
前記熱可塑性成分は、さらに、粘着付与剤、可塑剤、ワックス、顔料、酸化防止剤またはそれらの混合物を含んでなる請求項1～8のいずれかに記載の接着剤組成物。
【請求項１０】
前記熱可塑性成分は、熱可塑性ポリマー、粘着付与剤、可塑剤および／またはワックスを含むホットメルト接着剤組成物である請求項1～9のいずれかに記載の接着剤組成物。
【請求項１１】
前記皮膜形成ポリマーは、酢酸ビニル-エチレンコポリマー、酢酸ビニル-アクリル系コポリマー、アクリル系ポリマー、酢酸ビニルホモポリマー、ポリウレタンまたはそれらの混合物を含んでなる請求項1～10のいずれかに記載の接着剤組成物。
【請求項１２】
請求項1～11のいずれかに記載の接着剤組成物を製造する方法であって、
a）熱可塑性成分を、所望の粒径に粉砕し、次いで
b）粒状形態の粉砕熱可塑性成分と、水性成分とを混合する
ことを含んでなる方法。
【請求項１３】
前記粉砕は、極低温粉砕である請求項12に記載の方法。
【請求項１４】
背を有するブックブロックを結合して、製本する方法であって、
a）請求項1～11のいずれかに記載の接着剤組成物を、ブックブロックの背に適用し、
b）接着剤組成物を乾燥し、次いで
c）乾燥した接着剤組成物の表面に、第２ショットの接着剤を適用する
ことを含んでなる方法。
【請求項１５】
背を有するブックブロックを結合させて、製本する方法であって、
a）請求項1～11のいずれかに記載の接着剤組成物を、ブックブロックの背に適用し、

b）接着剤組成物を、水性成分が乾燥し、熱可塑性成分が溶融するように、加熱することを含んでなる方法。

【請求項１６】

さらに、上記熱可塑性成分によりブックカバーまたはキャッピングペーパーを上記ブックブロックに接着することを含む請求項15に記載の方法。

【請求項１７】

背を有するブックブロックを結合させて、製本する方法であって、

a）ブックブロックの背を縫って、縫われたブックブロックの背を形成し、

b）請求項1～11のいずれかに記載の接着剤組成物を、縫われたブックブロックの背に適用し、

c）接着剤組成物を、水性成分が乾燥し、熱可塑性成分が溶融するように、加熱することを含んでなる方法。

【請求項１８】

背を有するブックブロックを結合させて、製本する方法であって、

a）請求項1～11のいずれかに記載の接着剤組成物を、ブックブロックの背に適用し、

b）接着剤組成物を、水性成分が乾燥し、熱可塑性成分が溶融するように、加熱し、

c）ブックブロックの背を縫って、縫われたブックブロックの背を形成することを含んでなる方法。